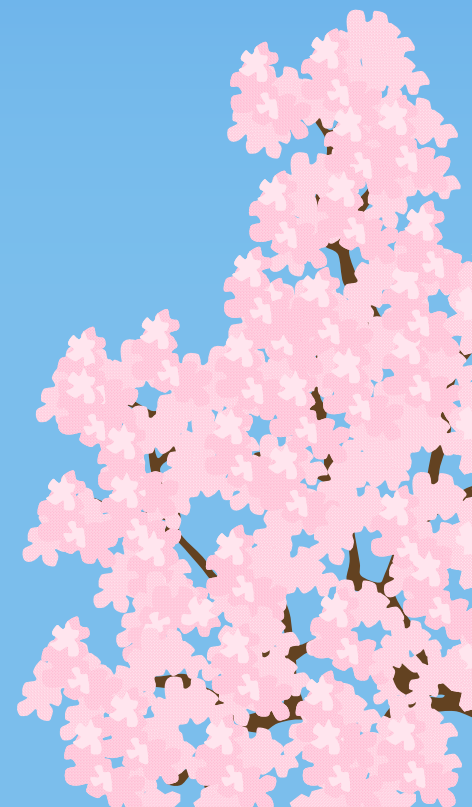
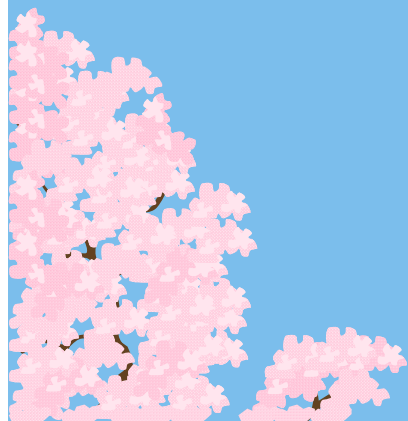
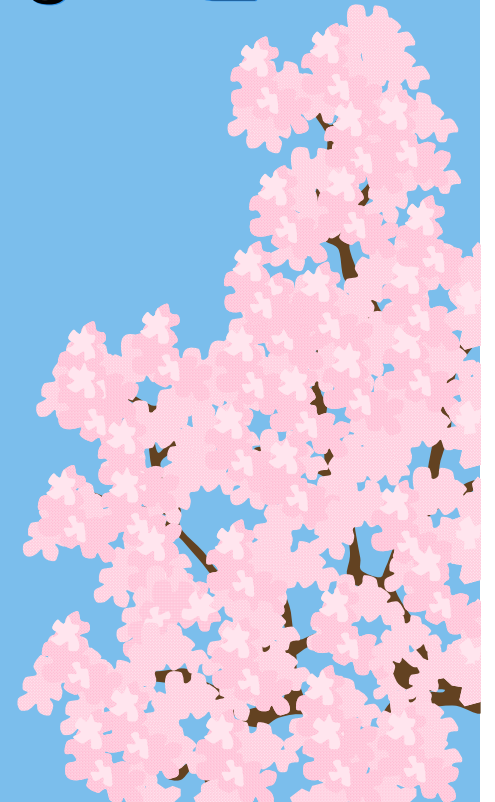
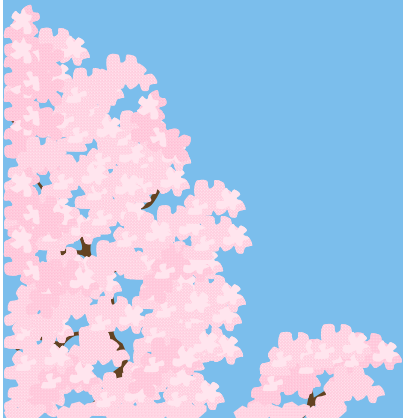


入居者委員会の 活動報告

2006年度



グループホームにとって大事なこと



1、食事のこと

- ❖ グループホームにとって きちんとした食事が
できることは とっても大事なこと。
- ❖ 1人暮らしではなく グループホームで暮らす
大きな理由は 良い食事がついていること。
- ❖ でも、毎日3食つくってもらっただけでなく、できる
人は 休みの日は 自由に自分で作ったり
外食したりもできたほうがいい。

2、世話人のこと

- ❖ 自分のことを よくわかってくれて、それを尊重(そんちょう)してほしい。
- ❖ 話をよく聞いてほしい。
- ❖ 入居者はひとりひとり違うので、それぞれの入居者との よい距離(きょり)をとって ほしい。
- ❖ 自分のことを勝手に決めたり、勝手に部屋に入ったりしないでほしい。

3、入居者同士のこと

- ❖ 入居者同士の相性(あいしょう)が大事
- ❖ 体験入居してから入居を決められるとよい。
- ❖ まわりに迷惑をかけないことや おたがいの生活を大事にすることが むずかしい人もいる。
- ❖ たてもののまどりや かべのあつさ なども重要。

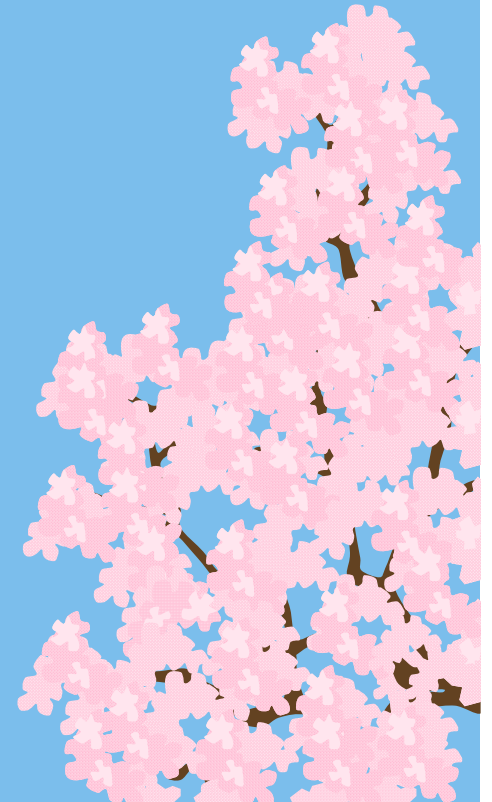
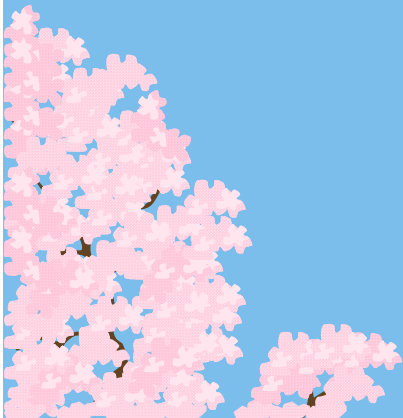


4、たてもの・部屋・場所

- ❖ 生活に便利な場所がいい。
- ❖ 広くて きれいな家がいい。
- ❖ お風呂やトイレも ひとつではたりない。
- ❖ 部屋の音や声もれなことが重要(じゅうよう)。
- ❖ でも、お金の問題で現在(げんざい)は無理。

5、地域との関係

- ❖ 不動産屋と大家さんが理解(りかい)してくれても、となり近所や 町内の人 の 理解(りかい)がないと住むことができない。



<まとめ>

- ❖ 広くてきれいなグループホーム、便利な場所に住みたくても、お金の問題がある
 - ❖ 家賃(やちん)がやすい地方に引っ越したくても仕事がなかったり、知り合いがいないので難しい
 - ❖ 住みなれたところで暮らしたい
 - ❖ 良いグループホームに住みたいと思っても、選ぶことはできない
 - ❖ 入居者同士の相性(あいしょう)を確かめるためにも、体験入居が必要
- 世話人には、入居者を理解して尊重(そんちょう)してほしい

入居者委員をやってみての感想

- ❖ 自分達とちがうグループホームの暮らし方や考え方が あることがわかって勉強になった。
- ❖ 知り合い、友達が増えた。
- ❖ 相手先も自分達とちがう生活を知ることができたので、お互いに勉強になった。
- ❖ これからも この活動を 続けたい。

